

【アメリカ「GAFA」 対 中国「BATH」

の恐るべき戦い、
について考える！】

⇒編集後記で

~~~~~

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【LINE アットでご購読の読者さんへ】

1月中ごろあたりからラインアットさんの  
大幅な値上げ予定に伴い

(私の配信頻度の場合、現状の60倍ほどの価格になる様子)

60倍の配信費用は負担が大きすぎると判断し、  
ラインアットではメッセージ配信数が減る予定です。

あなたが引き続き情報が必要という場合は  
完全無料メルマガを購読ください。

私ゆうのメルマガ購読はこちらです♪

<http://cabinet-ex.jp/fx/1>

(GMAIL は時々 内容が政治経済に突っ込んだ記事のときは  
届かないことが多いので他にアドレスあれば  
そちらで登録推奨です)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

どうもゆうです！

さてさて、今日はズバリこれから世界の経済戦争のメインとなりそうな

**【アメリカ GAFA 対 中国 BATH の恐るべき戦い】**

について考えたいと思います。

それで昨日は

**【なんと、この3ヶ月で発行された米国債の87%がQE4の資金だ】**

という話を書きました。

それで最後のほうに書いた話でかなり大事な話があつて

それが「デカップリング」っていう話なんですね。

この概念は大変大事なんだけど

要するに、今までアメリカに実質は依存していた中国経済が

自立していくんだってことですね。

それで今までアメリカといえば

大企業で GAF A っていうのがあつて色々独占などが問題となってますが、

ここに強力なライバルが登場してきそうで、

もう頭角を現している中国の4企業である「BATH」なんです。

だからこれからの世界はずばり

**アメリカ GAFA**

**VS**

**中国 BATH**

になるんですが、

そして文章全部読めないという人もいらっしゃるだろうから

**結論書きますと**

**もう中国の BATH がアメリカに本拠地を置く**

**GAFA に長期で勝つのが確定的だと**

**私は見てます。**

**(トランプがまるで2020年代に  
中国のBATHに勝たせるように、動いてる。)**

それでこの中国のBATHってのは (A) アリババとか (T) テンセントとか

(B) バイドウとか (H) フォーウェイのことだけど

これがいよいよ2020年代にアメリカのGAFAと正面衝突して

時価総額ランキングでも争っていく形になっていくんです。

そう、世界は旧勢力であるアメリカのGAFAと

新勢力である中国のBATHの戦いとなる。

**編集後記で！**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【最近アメリカの大金持ちたちは

100ドル札と金を備蓄しだしてる！？】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/us\\_rich\\_100dollar.pdf](http://fxgod.net/pdf/us_rich_100dollar.pdf)

年末のPDFレポート！

【金小売り価格がグラム5877円の

「40年ぶりの高値」を 年末につけた意味、について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/gold\\_2019high.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold_2019high.pdf)

PDFレポート

【副島隆彦先生の新刊

「全体主義（トータリタリアニズム）の中国が  
アメリカを打ち倒すーディストピアに向かう世界」

から考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/soejima\\_distopia.pdf](http://fxgod.net/pdf/soejima_distopia.pdf)

### PDFレポート

【FXもネットビジネスも「時間の配分」を工夫することで  
収益が10倍変わるっぽいという話】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/fx\\_timeshare.pdf](http://fxgod.net/pdf/fx_timeshare.pdf)

### PDFレポート

【最近の日本の20代、30代、40代、50代は  
価値観が全然違う！？】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/japan\\_sedai.pdf](http://fxgod.net/pdf/japan_sedai.pdf)

### PDFレポート

【アメリカのミレニアル世代は年収3000万円でも  
米と豆食べている？】ことから考える！

⇒ [http://fxgod.net/pdf/us\\_millennial.pdf](http://fxgod.net/pdf/us_millennial.pdf)

(写真29枚) 【台湾の温泉街ジャオシーは  
ただただ素晴らしい】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/taiwan\\_jaoxi.pdf](http://fxgod.net/pdf/taiwan_jaoxi.pdf)

PDFレポート【2019年は結局「負けないこと」を徹底した人が  
資産を増やした、  
という話】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/2019\\_makenai.pdf](http://fxgod.net/pdf/2019_makenai.pdf)

PDFレポート

【「聖なる夜」が「性なる夜」になってしまう日本文化の奥深さ】

について 真面目にクリスマスイブに考える！

[http://fxgod.net/pdf/jp\\_xmas.pdf](http://fxgod.net/pdf/jp_xmas.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



PDF レポート

【「金ゴールドを買う人が増えた2019年」から  
2020年代について考える！】

[http://fxgod.net/pdf/gold2019\\_2020.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold2019_2020.pdf)

PDF レポート

【イギリスのボリスジョンソン首相の勝利の本当の意味と  
「米英の諜報機関をめぐる本当の裏側の近代史」とは？】

[http://fxgod.net/pdf/boris\\_win.pdf](http://fxgod.net/pdf/boris_win.pdf)

PDF レポート

【南国でイスラムのマレーシアではクリスマスが盛り上がってる！？】

(写真付き)

[http://fxgod.net/pdf/malay\\_xmas.pdf](http://fxgod.net/pdf/malay_xmas.pdf)

PDFレポート

【中国のハイテク企業アリババ・テンセントのすごさと怖さ】

(銀行消滅)

[http://fxgod.net/pdf/alibaba\\_tencent.pdf](http://fxgod.net/pdf/alibaba_tencent.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【クリスマスプレゼント動画】

「トレードにおける聖杯を伝授！」が  
山之内さんから届きました！

⇒ <https://vimeo.com/307415558/f51027d16c>

※以下は2019年にまとめた記事で  
2019年終わり時点で「めっちゃ増えました」という声を  
結構読者さんからいただいたものですね～

私的企業と公的部門がズブズブ癒着してる  
共産主義国家の日本の株だと利益率がそこまで高まりづらいかもですが

日本以外の私的企業と公的部門をなるべく分離して  
資本主義を導入しだしてるアジアなどの国の株式市場で  
かなりの優位性が発揮できてます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【億万長者バフェット学】  
(全項目、上から読んで全項目を考慮して  
負けない投資を戦略立てる。)

PDF【資産10兆バフェットは大衆投資家が暴落で焦ってるところで買う】

(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory1.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory1.pdf)

PDF レポート

【億万長者のバフェットが避けたがる  
「コモディティ型企業」について知る！】

(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory2.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory2.pdf)

PDF レポート【投資したら損する「コモディティ企業」を  
バフェットが見分ける「7つの基準」とは？】

(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory3.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory3.pdf)

PDF【バフェットが愛する「消費者独占型の企業」とは何か？】

(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory4.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory4.pdf)

PDF レポート

【バフェットが「消費者独占型企業」を見極める  
3つの方法とは？】

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory5.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory5.pdf)

PDFレポート

【バフェットが株を仕込む際に見る「ROE 15%基準」とは?】

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory6.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory6.pdf)

PDFレポート

【「バフェットが消費者独占型企業を  
割安かどうか見抜く計算式」とは? (億万長者バフェット学)】

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory7.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory7.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====**編集後記**=====

さてさて今日は アメリカ帝国に本拠地を置く

大企業である GAFA と

そして、中国に本拠地を置く BATH

の仁義なき戦いがこれから2020年代に展開されていくのだ～

っていう話を書きたいと思います。

この辺はもうやはり日本で第一線の言論人が

副島隆彦先生や田中宇先生なんですね～

それで私ゆうは副島隆彦先生に「副島隆彦の弟子を自称してよい」

と以前にメールいただいていたまして

それもあって今でも副島先生の書籍なんかは

海外にいてもなんとか 電子版で買って学んでるのですが

その中でも今日 私も言及したかったのが

この

「アメリカ GAFA 対 中国 BATH」の戦いなんですね～

これが2020年代の主流の戦いとなる。

それでまず GAFA ガーファ といえばこれ

最近よく使われる単語でして

G グーグル A アマゾン F フェイスブック

A アップル

の頭文字を集めたアメリカの巨大な4つのIT企業のことなんですね。

世界企業の時価総額ランキングを見れば

今は世界企業の時価総額ランキングを上位総なめにしているのが

このGAFAです。

一応マイクロソフトが今1位といえは1位なのですが

2位～5位はGAFAなんです。

ちなみに昨日ちょっと面白いことを書いていて



こんなことを書きました。

「

ちなみにですがやはり JP モルガンってのは

影響力がヤバいですよね。

例えば GAF A なんていわれますが

じゃあ GAF A っていう大企業たちは名前は違うけど

大体の大株主がバンガードグループだったりしますよね。

それでバンガードグループは資産運用においては

ウェリントンマネジメントの支配下になってまして

ウェリントンマネジメント経営一族の

ウォルター・L・モルガンなんかが実際はアメリカや日本の

本当のボスと言われたりもする。

」

とまあこんな感じで実際は GAFA と言っても

違う企業なのか？という色々疑問がつくところではあります

とりあえず私なんかは GAFA みたいな

モルガン系の企業がほとんどの

時価総額ランキングを独占してるのが

今の時代だ、と言う風に見てたりします。

ただもうすでに 多くの人になんとなしに感じ取ってるように、

GAFA の衰退の予兆が見えてきてますよね。

アメリカ政府による QE なんかのジャブジャブマネーの株価吊り上げ

が有効な間は、まだこの GAFA 系はよさそうですが

いつまで持つのかな～という疑問は見えてきます。

アメリカのトランプ様のジャブジャブマネー次第なところが

あります。

それでこれに対して中国勢は

アリババが時価総額ランキングでは GAFA より現状は

弱くて、

49兆円の規模で7位。

それでテンセントは43兆円規模で8位となってます。

これが驚くことでいよいよ 最近になって

中国の 巨大 IT 企業ってのが

世界の時価総額ランキングのベスト 10 に頭角を現してきてる

わけですね。

これは意外に日本では報道されていないかもしれませんが

やはり海外の投資家たちには注目して見られています。

それでこのアリババとテンセントと

そしてバイドゥ百度とファーウェイ

これらを中国四天王企業で

「BATH バス」と呼ぶようになったわけですね。

これは名付け親は日本の多摩大学大学院フェローの

シン・サイヒン氏だそうです。

以前までは「BAT」だったんですが

最近は ファーウェイもってことで

「BATH」となった。

ちなみに時価総額ランキングですと

2019年の夏あたりでは

1位マイクロソフト

2位アップル

3位アマゾン

4位アルファベット=グーグル

5位フェイスブック

6位バークシャーハサウェイ=バフェット

7位アリババ

8位テンセント

10位JPモルガン

みたいになってますよね。

ただここにまた サウジアラビアのアラムコが

12月に国内上場した話もあって

それで今は実は1位はアラムコかもしれない。

これから中東勢もどんどんこうやってやってくる。

ただやはり 上のGAFA 対 BATHの戦いが主流なのには

違いはないのですが

このGAFAとBATHってのは極めてよく似ているわけですね。

アマゾンとアリババ、はEコマースからスタートしていて

アップルとファーウェイは メーカー、物作りがスタートしていて

フェイスブックとテンセントは SNSからスタートしていて

グーグルとバイデゥ は検索サービスからスタートしている

わけです。

だからほんとそっくりといえる。

それでアリババは以前に扱ったけど実質的な

資金量も目がバンク並みであって

金融商品の

「余额宝」 = ユエパオ

の預かり資産額が22兆円まで拡大していて

これはJPモルガンが運用するMMFの

2倍以上に相当する。

それでこの

「余额宝」 = ユエパオ

ってのがヤバくて、

すなわちアリババが



超簡単な金貸し業まで始めたってことですよね。

だから単にキャッシュレスで決済できるのは

当たり前であって、

それ以上に

アリババやテンセントってのは既に

クレジット会社、カード会社、

そして銀行にまでなっちゃった・・・ってことなんです。

だからこの

「余额宝」 = ユエパオによって

本当は15億人いるけど14億人といわれてる

中国人は簡単に「サラ金の融資まで」

受けられるようになってしまったわけですね。

その人がどれだけ お金回収の部分で

信用できるか？っていう

与信力については

もう AI で瞬時に判別して、

即座に決定されるのだけど

そこで日本円で 1 万円から 1 0 0 万円くらいまでが

金利 3 % ですぐに借りられるわけです。

それで蛇足ですが

実はこれは裏があって、

「お財布ケータイ」なんかの技術は

当時日本人が開発したもので、

ソニーとかががんばってたのですが

そこで日本の官僚たちが

「自分たちで

つぶした」のであります。

官僚たちは

暗記問題ばかり子供の頃練習していたものだから

大人になって思考力が麻痺してしまったようで

そこで SUICA とか PASMO で

「2万円までしか

いれちゃダメ」

とやったんですね。

本当は、既得権益の銀行を守るためです。

それをやったら

日本のこの決済技術の進歩は止まってしましまして、

その間にあれよあれよと言う間に

アリババやテンセントに抜かれたってのが

2010年代の真実だ。

だから本当は上の

「余额宝」= ユエパオ の技術ってのは

日本が発であったはずだけど

その日本は

官僚が自分で、規制をかんじがらめにして

決済技術の発展をさせない、としたがために

中国企業なんかが

「じゃあ私たちはこれをもっと研究します」

ってことで進めて

それで「余额宝」= ユエパオなんですね、どうも。

だから最初は「お財布ケータイ」であったけど

それはもう既に 銀行を意味するようになっておりまして、

ここではスマホ上で与信力がある人なら

100万円とかをチャリンと借りられてしまうわけで

それはもう中国の経済が活性化してる理由が

分かりますよね。

中国の経済成長率が6%になっており

以前の7%より落ちたというけども

日本の経済成長率は0.5%~0.8%と言われてますが

いまや日本以上に上海なんかは先進国になってきているのが

実情ですが

そこでまだまだ6%以上の成長率を維持してるすごさ

が分からないと これから色々判断を誤る。

キャッシュレスで決済が可能でさらに

「スマホで簡単に借入れ」なんかが出来てしまう

恐ろしさですよ。

だからもうこれから中国では

こういったサービスが生まれてきたから、

銀行は潰れていくわけでした

それはもう

**「世界は中国に負けたのだ」**

ということでもあるんです。

ちなみに私なんかはもう上海なんかは何度も行ってるので

そう書くのですが

一方行ってないと、この文章見たら意味不明なのかも

しれませんが

是非 本当の状態を知りたい人は

3泊でも4泊でもいいから、できれば

1週間以上は泊まったほうが良いけど



上海に行ってみると良いですよ。日本から近いし。

「なんやこれ」と驚くような光景ばかりなはずですよ。

日本のテレビなんかでも上海特集、みたいのを

沢山やったほうが視聴率上がるはずなんです

政治があるのであまりそういうのは頻度が少ないものですが

やはり今は中国の上海やあとは深センなんか

世界の中心となっている。(以前はニューヨークでした)

逆に日本人からするとそんな10時間も飛行機乗らなくても

2時間～3時間乗ればすぐ到着するところに

世界の中心都市があるのですから

これは考えようによってはすごいチャンスです。

それでネット決済のデジタルマネーによって

アリババ社の中に「アリペイ」から生まれた

余裕資金が蓄積されたんですが

それが上に書いた22兆円なんですね。

この資金が

「余额宝」=ユエパオによって

ネット貸し付け、および「貯蓄手段」にまで

なったわけです。

このネット銀行業は2013年から始まったのですが

このとき、西側の同盟諸国である

アメリカ、日本、欧州、は決定的な敗北を喫した

といえます。

だから人類史がそこで動いた。

それでスマホの画面上で手軽に

「余额宝」という貯金手段、定期預金を購入できるように

なってしまったし、

金利も3%くらいはつくんですね。

100万円預けてたら3万円

1000万円預けてたら30万円です。

1億円預けてたら300万円です。

中国人の間でこれが今爆発的な人気になっていて

そして外国人は買えない悲しさはありますが

アリババはこれまたここで集まった資金を世界中の

大銀行を相手に運用して

さらに資産を増やしたわけです。

それで、一方、アメリカのGAFAsideを見たいけど

まあ色々問題に直面してるのは

ご存知の通りです。

ちなみに中国人たちで BATH について不満を持っている人って

あんまり多くないようですが

一方 グーグルの独占とか

アマゾンが小売り潰してるとかで

問題になることはこれは多い。

GAF A はこれから様々な困難に直面していく。

それでまず追い詰められているのがアップル社でしたが

以前にグーグル以下、インテルや

アップルやマイクロソフトなどの巨大 IT 企業たちが

アメリカ政府に

「ファーウェイとの取引停止はわが社の経営に重大な支障を

きたす」

として要望書を提出しました。

そう、トランプが米中貿易戦争を仕掛けて

その結果として一番困ったのは

アメリカの巨大 IT 企業たちであったわけですね。

これを 一代で本当はグループあわせて資産 6 兆円前後を

作ってしまってる

相当頭の良いトランプ大統領が

「間違っ

もしくは「意図して」やったでしょうか

そこで実は分析が変わりますね。

それで実は2019年までに展開された

米中貿易戦争で最も窮地に陥ったのは

そう、アメリカに籍を置く巨大IT企業たちで

特にアップルでした。

9月1日にアメリカ政府が発動した

対中国の制裁関税 4段目で

10月15日から アメリカで販売中の

50品目くらいのアップル製品のうち、

スマホやノート PC を除外した6割強に

15%の追加関税が課せられたわけですね。

中国でスマホのほとんどを作っているアップルの

ダメージは大きいわけです。

ちなみに中国上海なんかでは

結構アップルショップがあったのを私は覚えてますが

中国人たちもアップル製品を結構使っていたわけですね。



それでアップルっていうとあの伝説的

スティーブジョブスのファンも多いわけですが

アップルのスマホ製造を中国（ホンハイ他）に

任せしたのはティムクックの判断ですね。

ジョブスではなかった。

だからアップルの中国依存度は結構すごいものがあって

90%なんです。

中国ではホンハイ精密工業＝フォックスコンを筆頭にして

ペガトロン、

**ウィストロン、**

**などが工場でアップルの製品を受託生産 EMS しています。**

**それらの工場では何十万人の中国人が働く。**

**またその他に組立工場のほかにも**

**半導体や基板などの電子部品をアップルに納品する**

**サプライヤー業者が**

**中国に無数にあって**

**アップルのそれらのサプライヤーのうち、**

**50%近くが中国に拠点を置いている。**

それで以前にアップルのティムクック CEO が 8 月 15 日の夜に

トランプに呼び出されて会談していて

そこはトランプのゴルフ場のクラブハウスであったといわれていますが

そこでトランプがツイートしたわけですね。

「今夜（8月15日）アップルのティムクックと一緒に食事だ！

彼らはアメリカに巨大な投資をする。素晴らしい」

と。

ただ実はこれは表であって

リアルだともう今にも泣き出しそうなティムクックに対して

「お前の会社の実情はそんなにひどいのか」

見たいな感じで対応していたといわれていて

ティムクックは「はい、今のままだとうち、つぶれちゃう」

ということを正直に言ったということが

副島先生の書籍に書かれておりました。

それでトランプは かなりのずる賢い人ですが

自分が米中貿易戦争を吹っかけておいてアップル追い込んで

その上で ティムクックの直訴を聞いて

「よし、そうか、ではアップルはアメリカの素晴らしい会社だから

短期的には、彼を助けなければならない」

と訳の分からないことをいったわけですね。

「アップルを特別待遇しない」とっていたトランプは

ここで態度を変えた。

そしてそのアップルもきつと利下げや QE 再開の

口実として使われたでしょうが

たぶんそれがトランプの目的ですが、

だから今 QE も含めて短期的に助けてあげてるよってことでしょう。

それでこのトランプとティムクックの2019年8月の会談の後、

アップル社が USTR に申請していた

関税免除が認められまして

15件のうち10件が認められた。

特に MAC PRO の主要な部品が含まれていた。

それでアップルは MAC PRO だけは

中国ではなくアメリカで生産すると決めたのですね。

トランプ様の

「アメリカ国内で作れば関税はゼロだ」

の路線に渋々乗った感じです。

と言う感じで見ていくと分かりますが

どう見てもトランプ大統領が 米国大企業 GAFA を

嫌っていて

嫌がらせして、それで時には飴を与えて

とやってるのがわかりますが

これは実際の話、トランプ大統領が大統領になる前

選挙のときに 今のグーグルやアマゾンなどの

多国籍企業の独占に対して声をあげてる人だったんですね。

それよりはスモールビジネスの企業たちにもっと

チャンスを与えて競争させるべきだ

ってのがトランプの思想であり

もっと言うとそれがトランプのバックのキッシンジャーの思想

なんです

そういう意味でこういう思想が常に機能して

米国大企業 GAFA にとって面倒な仕掛けをトランプは

今後も 2020 年代も再選後なんかは特に繰り返していく可能性が

高そうですから

そういう意味で長期的には GAFA は競争環境の点で

中国の BATH と比べて大変不利といえると思います。

ちなみにアリババなんかは中国人に比較的 support される理由があつて

これは以前扱ったけどジャックマーがですね

アリババを本当は

中小企業がスムーズに商売できるように、っていう発想で



作ったからなんですね。

その思想でプラットフォーム作ったらすごい支持されて

大きくなりましたって話でもある。

この辺はだからアマゾンとかとはちょっと違う感じで

大企業になって独占して支配してやるぞというところで

スタートしていなくて

中小企業たちが商売しやすいようにってところで

スタートしてますから

いまやアリババも大企業ですけども

最初のスタート地点の哲学がアメリカ系の大企業とは違った

というのが大きいと思います。

それでこの 中小企業たち もしくは個人事業主が

多極的に増えていき、経済活動をして

それで全体の経済生産性が上がっていくっていう考え方が

実のところ2020年代の主流の考え方となっていくますが

BATHはうまくその時流を捉えた、ってことですよね。

日本の場合はもはや化石になってきている

ITが誕生する前の

(多国籍)大企業と官僚たちが独裁支配しておけばなんとかなる

という旧来の価値観をずっとひきづってます。

が、既に新興国はその

経済構造はこれからの時代は

うまくいかないとわかってますので

それよりは

個人や中小が多極的に稼いでいくほうが

結果として全体の生産性が上がるというのをわかってますから

そういった 新しい経済構造に柔軟に対応しようとしていることが

分かりますね。

だから中国なんかでは ライブEコマースなんか

人気ですがあれは アリババグループですよ。

一方日本なんかではライブ E コマースなんかだと

「こういう言葉使い、表現はダメ！あれはダメ、これはダメ」

という問題に必然的になるわけでした

中小や個人たちは大体のケースで多国籍企業や官僚たちに

足を引っ張られるか嫌がらせをされるわけですが

この差があります。

「ユーチューバー」なんかも一時流行しましたが

もう最近では 憲法無視の表現規制ばかりでほぼ死につつありますよね。

劣化したテレビみたいなものばかりになってきた。

一時、官僚の広報機関であるマスコミたちが

官僚にそう報道しろといわれたとおり、

「ユーチューバーの過激な動画はダメ」とやってみました

「過激な表現」 はダメかどうか？

は 憲法 21 条言論表現の自由 にモロに関わる話ですが

すなわち 官僚たちが憲法無視して勝手な主観で

「表現規制」をしているわけですね。

これは商売も一緒に、景品表示法うんぬんで

よく消費者庁が マスコミに情報リークして報道させてるけど

あれ自体 憲法の営業の自由であったり 21 条の言論表現の自由に  
反するんだけど

平気で憲法違反であり、共産主義のようなことを

日本の官僚たちは個人や中小企業に対して規制をしたりする。

(が、さすがに最近もうおかしいでしょ、ってことで

中小企業たちが消費者庁に対して

景品表示法は憲法違反であるとして

行政訴訟をするようになってるけど、

私はこのように余裕ある事業者は

もっと行政訴訟をすればよいと思う。

最近の日本の官庁のやり方は 大体が何かしら憲法違反の疑いがありまして

憲法を骨抜きにしたがっている。)

こんな感じでこれからの世界の多極化にあわせて

社会、経済でも多極化が起こることを想定した上で

個人や中小ががんばって金儲けするのを

応援する BATHと

なんとかして個人や中小が台頭するのを邪魔して

大企業独占・寡占優位体制を崩さないように、という思想が

極めて強いGAFA

ですが

これはもう勝者は明白ですよね。

長期投資でトレンドに逆らい続けたら負けです。

だからこれは2020年代はかなり戦いは肉薄しつつも

2020年中にある程度勝負はついて

2030年にはBATHなどの中国系企業が圧倒的に勝者として

君臨する未来、

これは想定しておきたいところなんです。

ということで2020年代は

この GAFA と BATH の戦いつてのがひとつの注目でもありますので

チェックしていきたいところですね～

それでは！



ゆう

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### PDFレポート

【アメリカのミレニアル世代は年収3000万円でも  
米と豆食べている？】ことから考える！

⇒ [http://fxgod.net/pdf/us\\_millennial.pdf](http://fxgod.net/pdf/us_millennial.pdf)

(写真29枚) 【台湾の温泉街ジャオシーは  
ただただ素晴らしい】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/taiwan\\_jaoxi.pdf](http://fxgod.net/pdf/taiwan_jaoxi.pdf)

PDFレポート【2019年は結局「負けないこと」を徹底した人が  
資産を増やした、  
という話】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/2019\\_makenai.pdf](http://fxgod.net/pdf/2019_makenai.pdf)

PDFレポート

【「聖なる夜」が「性なる夜」になってしまう日本文化の奥深さ】

について 真面目にクリスマスイブに考える！

[http://fxgod.net/pdf/jp\\_xmas.pdf](http://fxgod.net/pdf/jp_xmas.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【「金ゴールドを買う人が増えた2019年」から

2020年代について考える！】

[http://fxgod.net/pdf/gold2019\\_2020.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold2019_2020.pdf)

PDFレポート

【イギリスのボリスジョンソン首相の勝利の本当の意味と

「米英の諜報機関をめぐる本当の裏側の近代史」とは？】

[http://fxgod.net/pdf/boris\\_win.pdf](http://fxgod.net/pdf/boris_win.pdf)

PDFレポート

【南国でイスラムのマレーシアではクリスマスが盛り上がってる! ?】

(写真付き)

[http://fxgod.net/pdf/malay\\_xmas.pdf](http://fxgod.net/pdf/malay_xmas.pdf)

PDFレポート

【中国のハイテク企業アリババ・テンセントのすごさと怖さ】

(銀行消滅)

[http://fxgod.net/pdf/alibaba\\_tencent.pdf](http://fxgod.net/pdf/alibaba_tencent.pdf)

【クリスマスプレゼント動画】

「トレードにおける聖杯を伝授！」が  
山之内さんから届きました！

⇒ <https://vimeo.com/307415558/f51027d16c>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆